

# 琵琶湖・淀川水系の水質保全について

～良好な河川環境の創出をめざして～

平成14年9月12日

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構

# 1 (財)琵琶湖・淀川水質保全機構

- ◆ 淀川水系の水質保全を目的
- ◆ 2府4県3政令市及び124社の出捐金
- ◆ 学術委員
- ◆ 琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター



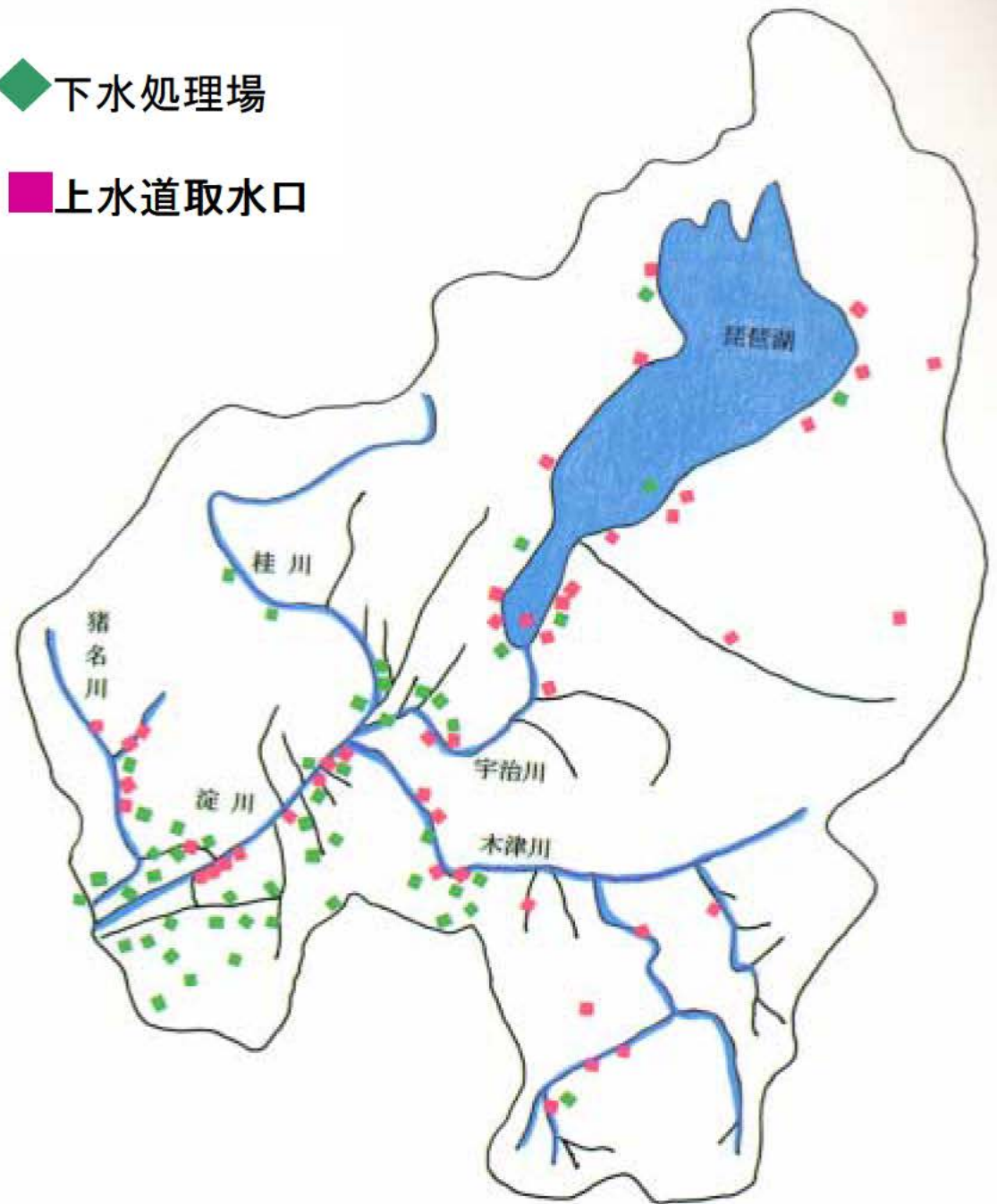
## 2 水質保全問題の基本認識

- ◆ 広域的かつ高度に水が循環利用されている水系
- ◆ 従来に対処療法的な水質保全対策の転換期
- ◆ 水質問題はライフスタイルや人の意識と密接に関係
- ◆ 水質保全には流域管理の視点が求められる

## 2.1(1) 琵琶湖・淀川周辺の 下水処理場と 上水道の取水点 の位置

◆ 下水処理場

■ 上水道取水点



# 2.1(2) 淀川周辺の下水処理場と上水道の取水点の位置

大阪府、京都府

1997年現在

下水処理人口：208万人

処理水量：13.7m<sup>3</sup>/s



大阪府、兵庫県

1997年現在

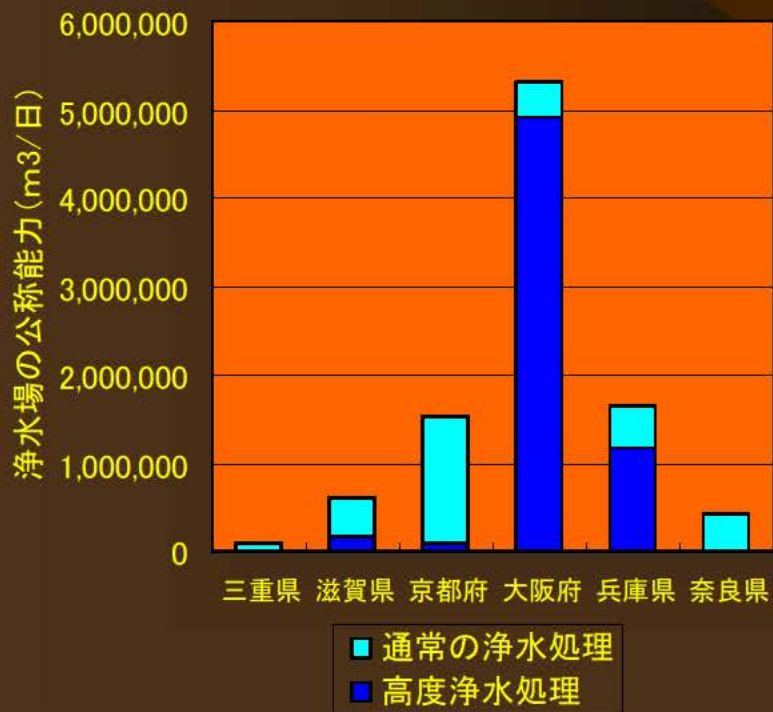
上水利用人口：1,100万人

上水水利権量：74.256m<sup>3</sup>/s

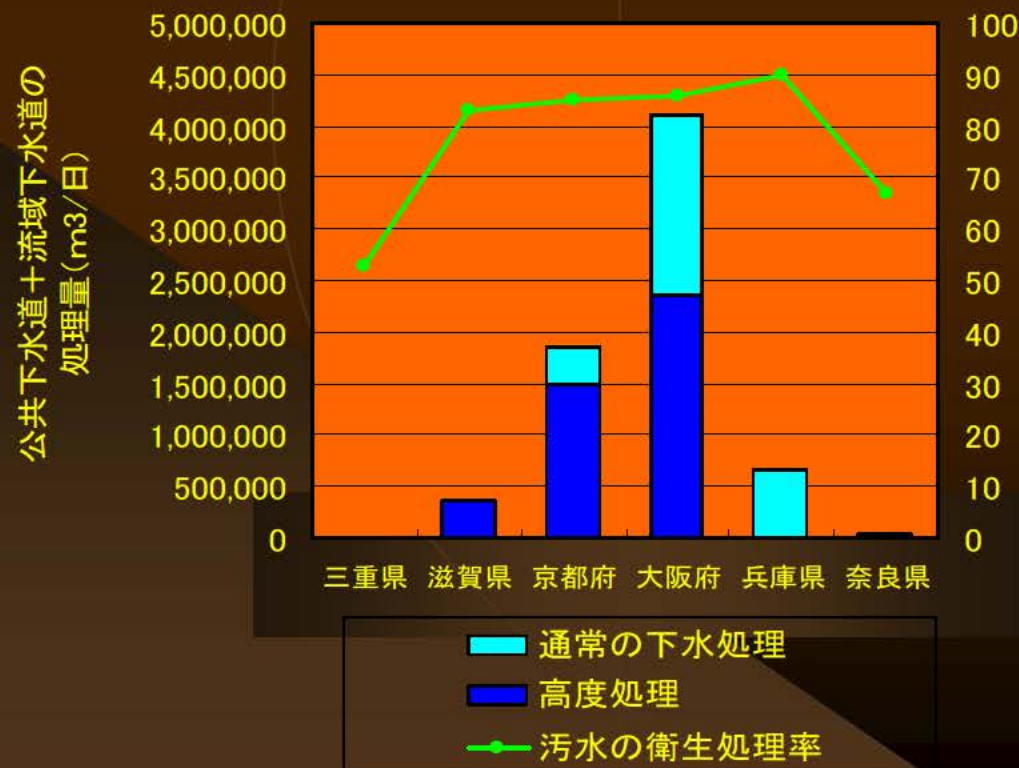
■ : 下水処理場  
★ : 上水取水点

## 2.2 琵琶湖・淀川流域の浄水場と下水処理場の現状

### 浄水場の現状

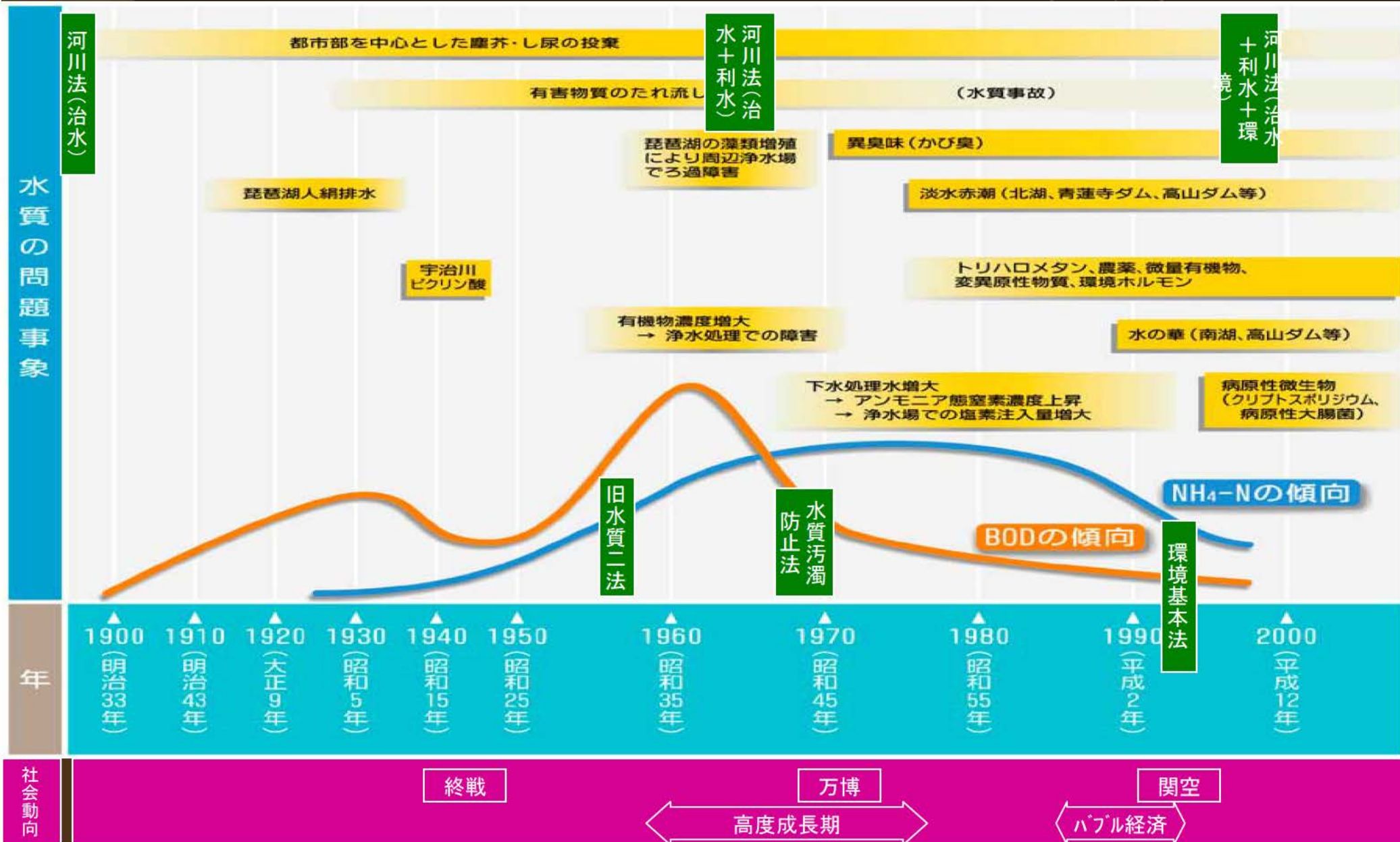


### 下水処理場の現状



「平成11年度 下水道統計」より

# 2.3 水質問題の変遷

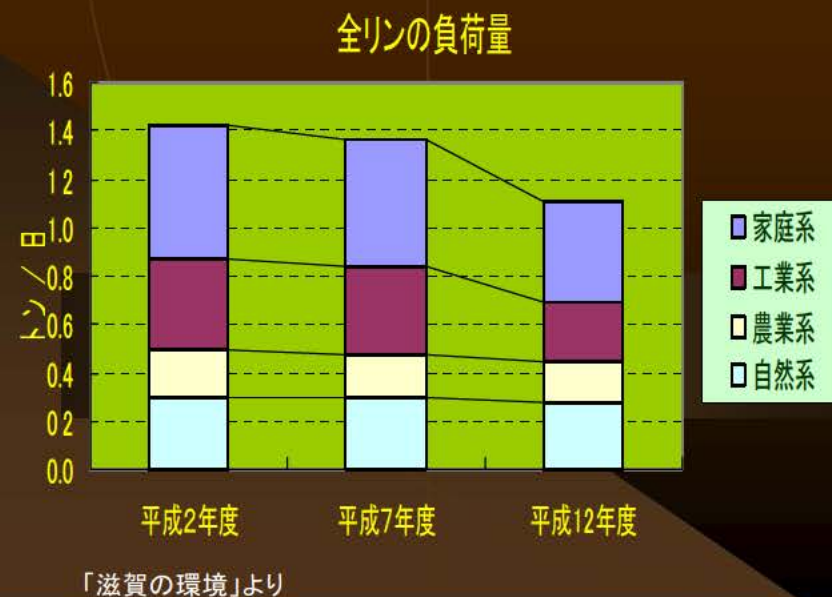
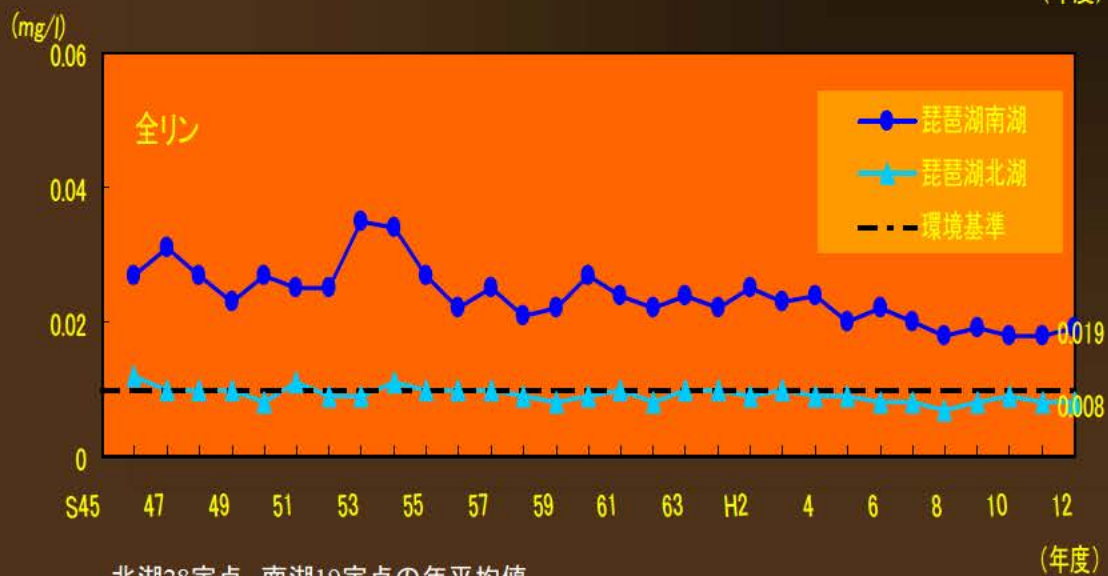
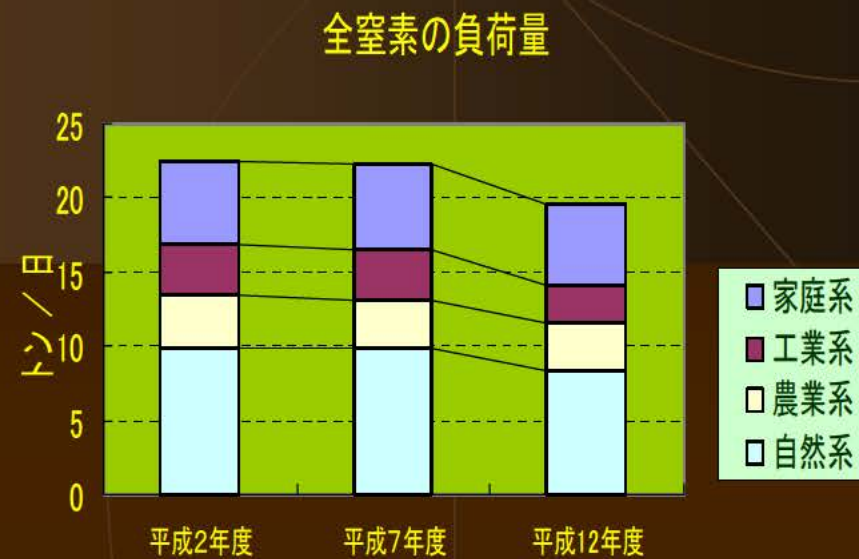
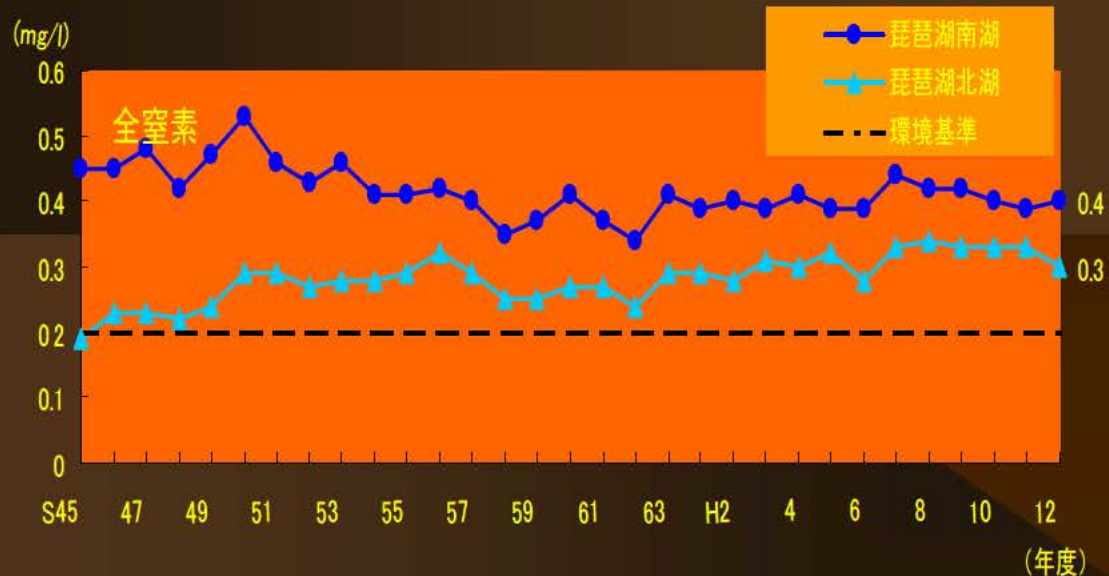


## 2.4 琵琶湖淀川が抱える水質課題の変化

- ◆ 有機汚濁問題から微量有害物質・環境ホルモン・病原性微生物など水質問題の高度化
- ◆ 点源負荷に対して面源負荷対策の遅れ
- ◆ 琵琶湖等閉鎖性水域での水質改善が停滞
- ◆ 生態系保全や親水利用等から求められる、よりいっそうの水質改善要求



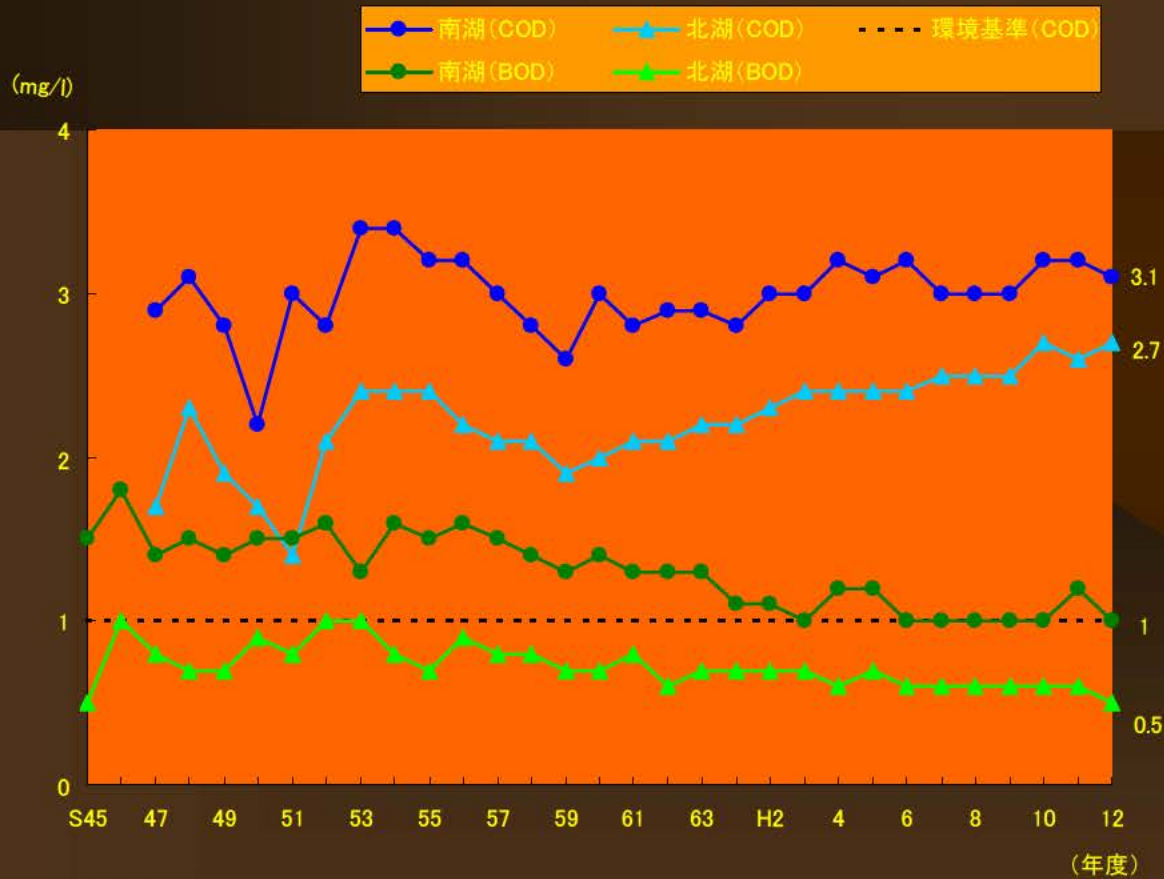
# 2.5(1) 琵琶湖の変化



北湖28定点、南湖19定点の年平均値

「滋賀の環境」より

# 2.5(2) 琵琶湖の変化



北湖28定点、南湖19定点の年平均値

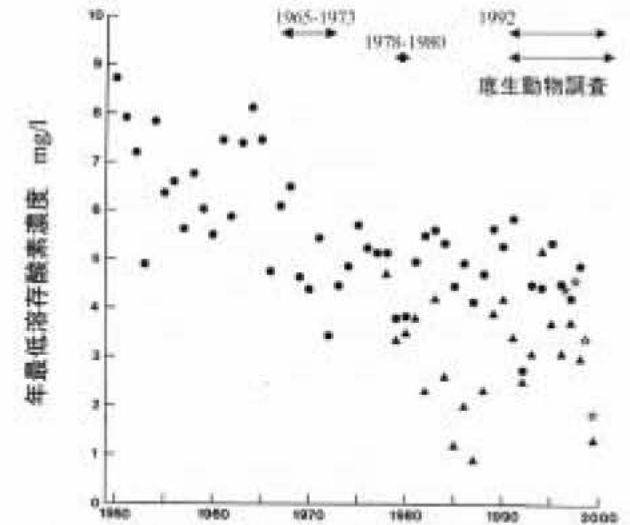


図2 北湖水深約80mおよび90mにおける年最低溶存酸素濃度の長期変動

● 水深約80m (滋賀県水産試験場による)  
▲ 水深90m (滋賀県衛生環境センターによる)  
☆ 水深90m (本研究による)

北湖水深80mおよび90mにおける年最低溶存酸素濃度の長期変動

「滋賀県琵琶湖研究所 所報 19」より